

東京女子大學 日本文學

第六十四號

目次

加賀掾正本「藍染川」

——竹本座創立時の期をめぐって——

鳥居フミ子（一）

元亨釈書と今昔物語集

——釈書卷第十九の僧伝を中心として——

佐藤 静子（二六）

凡兆

——「猿蓑」後の問題——

間渕 圭子（三七）

漱石最晩年の漢詩について

——「橋」のイメージをめぐって——

金子真由美（四五）

「或阿呆の一生」と「西方の人」について

木山登茂子（六三）

第五回松村緑賞

（八一）

昭和六十年三月卒業論文題目 同修士論文題目

（八三）